



一本道

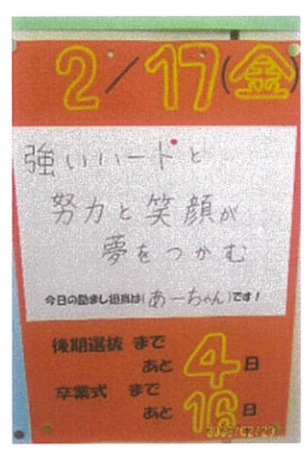
1 後期選抜の事前指導、「強いハートと努力と笑顔が夢をつかむ」

2月21日と22日の後期選抜に向け、2月20日、後期選抜の事前指導を行いました。その中で、次の2点について話しました。

- ① 受検はゴールではなく、夢の実現への1つの大きな節目です。
- ② 高校で大事なことは「意欲」です。意欲＝挑戦です。(各高校の「重視する観点」で一番多かったキーワード)

前期選抜の事前指導でも、同じ話をしました。33名のすべての3年生の生徒は、私が自信をもって各高校に送り出せる生徒です。夢の実現のための1つの大きな節目である「受検」に、しっかりと「挑戦」し、「成長」してくれています。

右の写真は、3年の坂本あかりさんが書いた受検にぴったりの卒業カレンダーの素敵な言葉です。3月6日の合格発表日に全員の桜が咲くことを心から願っています。



2 「地域学校づくり協議会」の皆様との連携・協議

2月27日、地域学校づくり協議会の皆様に学校参観をしていただきました。メンバーは、地域から学校評議員の3名、PTAから会長と副会長の3名の計6名の皆様です。授業参観後に、学校の取組、成果と課題を



説明しました。協議の話題として、「教育環境がよくなったこと」「通知表年2回発行」「コロナ禍のオンライン授業」「高校受検の現状」「SNS問題」「自転車通学や徒歩通学の奨励」等、多岐にわたり感想やご意見を頂きました。ありがとうございました。来年度は、新型コロナウイルス感染症対応の観点からも、保護者や地域の皆様と更なる連携を図っていただけるものと楽しみにしています。今後もよろしく願いいたします。

3 3年生への道徳授業「人生100年時代」

2月27日、3年生へ道徳の授業を行いました。校長になり、なかなか生徒へ授業する機会がありませんので、その分楽しみにしていました。選んだ題材は「人生100年時代」です。リンダ・グラットンさんの「ライフ・シフト」という本をもとに、授業を行いました。この本の中で一番興味を持ったのが、「日本では2007年生まれの子どもの半数は、107歳まで生きる」という文章です。ピッタリ今の中学3年生なのです。



そこで、次の3つの発問で授業を行いました。①「このグラフを見て、分かったこと、思ったこと、はてなをたくさん出してください。」②「人生100年時代という言葉聞いて、あなたは『ワクワク』と『どんより』のどちらが強いですか？」③「起業家の3人の考えの中で一番共感するのはどれですか？」たくさん自分の考えを発表してくれた3年生です。生徒たちの人生100年に幸多きことを願っています。

